

大阪府特別職報酬等審議会 審議概要

1. 日時 平成27年8月31日 10時00分から11時10分

2. 場所 大阪府公館

3. 出席者

(委員)

池田会長、尾池委員、倉持委員(会長代理)、中村委員、藤本委員、本荘委員、山本委員
(大阪府)

村上人事局長

[人事局企画厚生課]

田村課長、伊藤参事、奥野企画調整補佐、廣永企画総括主査、山岡主事、上野主事

4. 議題

(1) 特別職の報酬及び給料の額等について

(2) その他

5. 議事要旨

(1) 特別職の報酬及び給料の額等について

○事務局より資料等の説明

○答申案等について

・(会長より) 事務局からの説明を踏まえ、答申案について質問や指摘はあるか。

→委員より特段の発言なし

・(会長より) 答申案について、知事への答申までの時点修正については、会長に一任いただきたいと思うがよろしいか。

→委員了承

・(会長より) 非常勤の行政委員については、引き続き議論することとなっており、改めて委員の方々と日程を調整し、審議会を開催することでよろしいか。

→委員了承

・(会長より) 審議会の開催時期については、事務局と調整し改めて連絡することとしたいと思う。事務局から何か説明することはあるか。

→(事務局より) 答申は、本日の審議結果を基に補足・修正等をした上で会長に承認いただき、9月1日11時30分に、会長から知事に答申・意見具申をお渡しいただく予定をしている。

会長に答申を最終確認していただいた時点で、委員の皆様にはメール等で報告させていただく。

審議会の再開は、改めて日程調整等の連絡をさせていただく。

→委員了承

○委員から知事への意見等

- ・知事の退職金を給料に盛り込むというのは、それはそうだろうという部分もある。給料も全国で17番目程度とそれほど高くないことから、今回の答申は妥当かと思う。大阪の中小企業全体は非常に厳しい状況にあり、アベノミクスで良くなったと言われているが、中小企業は恩恵を受けていないところが大半だと思う。知事には中小企業の現状を理解いただき、中小企業施策もしっかりやってもらいたい。
- ・知事の退職手当を給料に盛り込んだことで給料が高く見えるので、「退職手当がなくなった」ということをしっかりアピールしてもらいたい。
- ・大阪府が日本の都道府県の中で、任期中の総収入が最下位というのは、とても恥ずかしく、情けないので、知事の人材確保の面からも財政に余裕が出た際には、必ず日本で10番ぐらいの水準に見直していただきたい。
- ・退職手当を廃止することだけでなく、その額を給料に還元するというのも理解し、しっかり発信していただきたい。
- ・日本や関西における大阪のポジショニング、人材確保等も含め、財政状況を鑑みながら、水準については引き続き検討していただきたい。
- ・給料に退職手当の額が加算されたということで、実質的には給料アップになっている。それだけ頑張っていたと期待しているという府民の気持ちが入っていると思うので、誠心誠意府民のため、大阪府のため、知事には励んでいただきたい。
- ・今回、退職手当の廃止ができたということで、とても有意義な審議会だったと思っている。
- ・本庁部長級の職員の給与改定率で本給の改定をしたことについて、この率を採用するのが妥当か、また、どのように給料の年額を考えていくのか、難しい議論ではあるが、今後、審議会で検討の場があった際は、踏み込んで議論していただきたい。
- ・地方再生が言われており、地方自治は大きく変わっていかねばならないと思う。その中で、首長の役割がますます重要になってくるため、報酬体系を改定するだけでなく、首長の役割を含め地方自治の在り方の議論のきっかけとなって、それを大阪から全国に発信していただければありがたいと思う。

(2) その他

- ・(事務局より) ⇒9月1日に、会長から知事に答申いただき、その答申等を踏まえた条例(案)については、9月の前半議会に提出する方向で検討させていただきます。
- 非常勤の行政委員の報酬は引き続き審議いただくことになっているが、審議を行う際は、日程の調整等も含め、委員の皆様にはよろしく願いしたい。

→委員了承